平成２４年６月定例会　一般質問

高島市内における中小振興策について

多くの中小の事業所は経済の悪化に苦しみ、経営は大変厳しい状況にあるなか、以下の質問をします。

問 圧倒的多くの中小企業者にしっかりと目をあてた取組みは。

答 産業経済部長

「企業活動支援条例」に基づき、企業が行う設備投資や地元雇用、また、経営基盤の強化対策に支援措置を講じています。

問 中小企業支援を産業振興の柱に据えるべきでは。

答 中小企業支援は、高島の産業振興に極めて重要なことと認識しており、「びわ湖流の郷たかしま戦略」をキーワードに、攻める産業づくりを基本としつつ、景気動向等を見極めながら地域経済の活性化に取組みます。

問 太陽エネルギーの活用のため太陽光発電補助が予算化されていますが現状は。

答 節電や省エネへの関心が高まり、利用者も年々増加傾向にあります。本年度は20件の申請をいただいています。

自殺対策について

自殺者には、経済、生活問題、家庭問題が関係することからその対策に取り組む必要があると考え以下の質問をします。

問 自殺予防の市と医師会の連携は。

答 健康福祉部長

現在は医師会との連携体制はなく、必要に応じて主治医に相談する方法をとっています。

問 市内の自殺者の推移は。

答 平成22年の市内の自殺者は、男性８名、女性６名です。

問 自殺の主な原因は。

答 警察庁の資料によりますと、「健康問題」「経済・生活問題」「家庭問題」と続いています。

問 自殺対策連絡協議会の設置は。

答 現在は、自殺予防連絡会において情報交換し、次の取組みに生かせるよう協議しています。

問 自殺予防教育のあり方はどういった内容ですか。

答 自殺予防のためには校内体制を構築し、校外の関係機関との連携が重要と示されています。

平成２４年９月定例会　一般質問

防災対策について

地域防災計画の見直しが進むなか、次の質問をします。

問 防災教育、防災訓練の取り組みは。

答 政策部長

原子力災害が危惧されるため、フォーラムの開催や原子力災害の防災訓練を行いました。

問 中学生は助ける側にいると思うが、教育、訓練の実態は。

答 まずは自分の安全確保のための学習や訓練を行っています。

問 自主防災組織の数と避難訓練の取り組みは。

答 自治会数204のうち163の自主防災組織が結成され、自助、共助を基本とした実効的な訓練となるよう支援に努めます。

問 災害時の行政と議会の連携は。

答 今後どのような連携、協力体制ができるか調査・研究します。

問 災害時の情報提供の現状は。

答 現状はホームページ、防災行政無線などで情報提供を考えています。

問 防災公園の防災機能整備は。

答 都市公園は広域避難場所等の支援活動の場としてふさわしいので、施設整備や機能の整備について今後調整を図ります。

問 住宅の浸水等新しい災害の対策は。

答 毎年危険個所等をパトロールし状況把握を行っており対応については関係部局と調整を進めます。

問 防災会議には女性が登用されているか。

答 現在は４名の女性委員を登用しています。

問 学校設備の非構造部材の耐震化は。

答 国の補助金を活用し、耐震対策の推進を検討します。

市立学校における通学路安全点検結果について

通学路の安全点検の実施を受けて次の質問をします。

問 点検実施校数と点検箇所数は。

答 教育部長

19校76箇所について点検しました。

問 点検を受けての今後の対応は。

答 交通安全教育や啓発を行い、市道の環境改善を実施します。

問 小中学校の交通ルールやマナーの指導は。

答 様々な危険を予測し、自他の安全に配慮して安全な行動がとれるよう指導しています。

問 自転車の車道走行の指導は。

答 原則車道走行ですが、歩道走行が認められる場合について指導を行っています。

平成２４年度　９月補正予算の概要

歳　出　予　算（主なもの）

■総　務　部

- 財政調整基金積立金・・・・・・824,000 千円
  地方交付税や繰越金を将来に備え財政基金に積立
- 公共施設整備基金積立金・・・・・18,092 千円
  県住宅供給公社交付金文を積立
- その他公共財産維持管理事業・・・31,278 千円
  老朽化が進んだ高島老人福祉センターの解体工事等ほか

■政　策　部

- 防災行政無線整備事業・・2,300 千円
  戸別受信機の雑音対策・子局等の追加
- 原子力防災対策・・・・16,331 千円
  防護服（常備消防・消防団・職員）ほか

■産　業　経　済　部

- 安曇川西部地区農村振興総合整備事業・・・14,000 千円
  獣害防止柵整備工事
  （安曇川町田中「馬場地域」の追加）

■健　康　福　祉　部

福祉施設建設費借入金償還補助金
（建設時の借入残金繰上げ償還への補助）

- アイリス建設費借入金償還補助金・・・10,000 千円
  一括繰り上げ償還分
- ドリーム建設費借入金償還補助金・・・50,311 千円
  一括繰り上げ償還分
- 特養「ふじの里」借入金償還補助金・・・36,678 千円
  一括繰り上げ償還分
- 特養「ニューサンライズ」借入金償還補助金
  一括繰り上げ償還分　・・・81,000 千円
- 認知症高齢者グループホーム整備補助金
  2か所　・・・66,300 千円
- 不活性化ポリオワクチン定期接種委託料
  ・・・17,640 千円

■土　木　交　通　部

- 道路維持管理事業・・・12,166 千円
  JR新旭駅周辺道路補修工事
- 道路維持管理事業・・・19,164 千円
  市道弘川深清水線道路改良事業
  （福岡工区）

今津総合運動公園　サッカー場整備事業についてのＱ＆Ａ

Q サッカーだけにしか使用できないのですか。

A グランドゴルフ、ゲートボール、ラグビー、フットサルにも使用できます

Q いま何故、サッカー場のことが議会で決定されたのですか。

A サッカー場の具体的な整備計画はこれから詰められますが、大きな用地の確保が必要なため、用地取得の契約が議会の決定が必要なため、執行部から提案がありました。今後の整備計画でもしっかりチェックしていきます。

Q いま何故、サッカー場なんですか？

A 降ってわいた事業ではないんですよ。H21年９月から調査研究をしていることなんです。遅まきながら、高島新政クラブでは、今年、５月１７日・１８日の政務調査の際に、岡山県美作市のなでしこジャパンのメンバーがいる「岡山湯郷 Belle」の本拠地である「美作ラグビー・サッカー場」もしっかりと見てきました。また、宿泊施設をはじめとした地域経済の活性化を図れると考えているからです。現在、市内全域の宿泊施設を利用し、今津運動公園へ宿舎から送迎がされています。

Q 何故、今津町なんですか？

A 今津総合運動公園をスポーツの拠点と考えていからです。補足☆今津総合運動公園には野球場・テニスコート・多目的グランド３面・屋内運動場・温水プールが集中しています。

Q 財政難と言いながら何故大金（税金）を投じるのですかか？

A 総工費のうち 54%が※国の補助金、24%が※合併特例債、残りの 22%が市税（一般財源）と考えられます。なるべく市民の負担が多くならないようチェックしていきます。

Q 何故、今、用地取得なんですか？

A 詳細な基本計画があっても、土地の確保ができなければ計画は進みません。また土地の確保ができていなければ補助金の確保も難しいのが現状です。

Q 用地は、全て市税で購入されるのですか？

A 用地は、土地開発基金(市の独自の基金)を使って先行取得し、補助事業として認められた段階で、補助金などを使って基金より買い戻されます。

Q 土地の価格が高いと言われていますが？

A 公共用地の確保は国家資格を要する不動産鑑定士が行っています。最近あった保育園等の用地価格に比べても低いものです。

Q 何故ほかのことにお金を使わないんですか？

A ほかの事業は、高島市総合計画と中長期財政計画に則って行ってもらいます。